

会派「誠流」の吉田です。最後の質問者となりましたが、よろしくお願いたします。相次ぐ台風による豪雨災害に見舞われた方々に、心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

それでは、発言通告に従い一問一答にて、質問させていただきます。

まず、本年3月の定例会において、会派「誠流」の福島議員が行なった代表質問に、「中小企業振興条例を策定し、中小企業を軸に産業振興を図るべき」との質問があり、桜井市長は「仮称、中小企業、小規模企業振興に関する基本条例策定委員会」を設置し、本条例についてご協議をいただき、できるだけ早い段階での施行を目指したい。」と、答えておられます。

半年経過していますので、今日はその時の答弁にあった「中小企業及び小規模事業振興基本条例」の策定にむけての進捗状況をお尋ねします。

答弁者

この基本条例ができると本市の産業経済の発展に大きく寄与するものと期待しているのですが、「中小企業及び小規模事業振興基本条例」の意義と施行後の取組みについて答弁ください。

答弁者

主体となる関係団体との連携と協力体制の構築を急いでいただきたいと思います。

2点目の質問に入ります。

本市は「おやベルネサンス総合戦略」を強力に推し進めていますが、高齢化の進行はその進行の速度を上げて迫っております。毎年3月に「小矢部市統計書」をホームページ上に公開しており、小矢部市の高齢化率は平成27年データでは33.0%平成23年では29.8%となっています。

小矢部市全体で5年間に3.2%高齢化率が高くなっています。

ゆっくり進行しているように見えますが、18地区の中には5年間に8.3%上昇し43.4%の南谷地区、5.8%上昇し41.9%となった宮島地区、4.3%上昇した石動町部は38.2%となっており、顕著な地域差が存在しています。

さらに集落単位に分析を狭めると、限界集落が見えてきます。

限界集落というのは、65歳以上の方が50%以上の集落ですが、統計書から実態を紐解くことは困難なので、町内単位のデータが存在するならば、「小矢部市内に限界集落はいくつあるのでしょうか？また、世帯数が20世帯以下の限界集落」はいくつあるのでしょうか？

答弁者

日常のコミュニティー活動は町内会単位もしくは集落単位であります。行政は縦割りに様々な計画を作り、対象となるエリアを地区単位に捉えています。

- * ほっとライフプラン2015 第6期小矢部市高齢者保健福祉計画
- * 第2次小矢部市地域福祉計画 (P14 基本的方向)
- * 地域防災計画

限界集落の中には、高齢化率が60%を超える集落も多く、高齢者が後期高齢者を支える状況にあり、市が作成した計画の通りに対応できない状況にあります。

効率の悪い田畑を引き継ぐ後継者がおらず、農業生産の継続が困難になり、買い物や病院通いも不自由になっている状況に大きな懸念を抱いています。

おやベルネサンス総合戦略の一方で、コミュニティーの地域力は想像以上に疲弊しているのではないのでしょうか。

日常生活もままならない、80歳、90歳の一人暮らしを高齢者が支える限界集落において、高齢者保健福祉計画や地域防災計画が、計画通りに機能するかどうかを点検しておかなければならないと考えますが、どうでしょうか？

答弁者

答弁者

限界集落の実態を把握し、点検の結果をもとに特定集落として「人材の育成」や「人材の確保」など、一元的に担う縦割りではない支援策を検討すべきと考えます。部局を横断的に判断してご答弁をいただきたい。

答弁者

是非、実態の把握と計画の実効性を点検の上、実効性のある対策を検討下さい。

3点目の質問に入ります。

今年度において「公共施設等総合管理計画」を策定することになっていますが、この策定スケジュールについてお尋ねします。

答弁者

小矢部市は大谷小学校校下の4保育所の統合と、蟹谷小学校校下の3保育所の統合を推進するべく、地元地区へ説明に出向いているが、それぞれの地元において十分な理解を得られたものと受け止めているのでしょうか？

民生文教常任委員会では、本年7月に市内保育所の視察を行ない、保育士不足の切実な声を聞いているが、統合保育所の建設場所も決定したわけでもない状況にあって、地元地区の中からは永年やってきた地元行事の運営を考えると、絶対反対との声も聞こえてくる。今後の進め方を問う。

答弁者

保育所の統廃合については、さらに丁寧な説明に努めていただくようお願いすることとし、質問を進めさせていただきます。

社会教育施設の統合や保育所の統合に共通するが、統合後の既存施設の利用についてどのような方針を持つのか答弁下さい。

答弁者

公共施設等総合管理計画は建物を中心にまとめるが、小矢部市が造ってきた様々な社会資本には上水道、下水道、橋梁、道路、消雪設備などもある。これらの維持管理や長寿命化にかかるコストの将来予測について、試算しておく必要があると思うが市当局の見解をお尋ねしたい。

答弁者

人口減少する現実に向き合うと、極めて厳しい対応を余儀なくされるものと思うが

先の総合教育会議において小中学校の統廃合について議論されたはずだが、今後の方針についてお答えいただきたい。

答弁者

質問の最後を桜井市長に締め括っていただきたいのですが、「持続可能な自治体経営」についての所見をお尋ねします。

市長答弁

平成の大合併が叫ばれたときに、単独市制を選択した小矢部市は富山県の西の玄関口にキラリと輝いている。私は、あの時合併しなくて良かったなあ、と思っています。おやベルネサンス総合戦略を強力に進める中であっても、高齢化はスピードを上げて進行しております。小矢部市が持続性を持ちながら力強く明るい未来に向かうよう、議会と切磋琢磨していただくことをお願いして質問を終わります。